

日本宗教学会  
第 56 回 学 術 大 会

期 日 1997年 9 月13日 (土) ~ 15日 (月)  
会 場 慶 應 義 塾 大 学  
東京都港区三田 2 - 15 - 45

## お知らせ・お願い

1. 受付で名札をお受け取り下さい。
2. 受付には学会本部が出張しております。学会費未納の方はお納め下さい。
3. 研究発表者は、発表の2番前には、その部会会場へおいで下さい。
4. 研究発表は1人15分、質問時間は5分となっております。発表時間の厳守をお願いします（初鈴13分、二鈴15分、三鈴20分）。
5. 研究発表のレジュメ（表紙・本文）は、部会責任者にお渡し下さい。

締切 大会最終日（9月15日）17時50分

（以後の提出、訂正は一切受け付けません。）

表紙 同封のレジュメ表紙を御利用下さい。

枚数 題目・氏名を除いて400字詰縦書き原稿用紙4枚（1,600字）以内  
厳守。超過した場合は掲載できないこととございます。

本文 縦書き（ワープロ・パソコンでの印字も縦書き）。なるべくワープロを使用して印字して下さい。手書きの場合は読みやすいよう丁寧に書いて下さい。外国語表記は明瞭をお願いします。

図表等の掲載はできませんので添付しないで下さい。

6. 喫煙は所定の場所（428教室）以外ではご遠慮下さい。
7. 大会本部への電話は次の番号をご利用下さい。

電話（13日）03-3453-4511 内線3075, 3069

電話（14日・15日）03-3453-0004 内線2215

ダイヤルイン 03-3453-4521（通信音が変化した後2215を押す）

FAX 03-3798-7480（宛先を文学部宮家研究室と明記のこと）

受	付	南校舎1階 ロビー
会	員 休 憩 室	南校舎1階 学生ラウンジ 2階426教室・428(喫煙可)教室
日	本宗教学会本部	南校舎1階 教員室
学	術 大 会 本 部	南校舎2階 教員室

## 日 程

### 9月13日(土)

開会式	(北新館ホール)	13:00～13:30
公開講演会	(北新館ホール)	13:30～16:30

#### 「世俗社会における新宗教」

日本宗教学会会長・筑波大学名誉教授 井門富二夫

#### 「フロイトと宗教心理」

東京国際大学教授・慶應義塾大学特別招聘教授 小此木啓吾

学会賞選考委員会	(北新館 会議室2)	14:00～15:30
理事会	(北新館 ファカルティクラブ)	17:00～19:00

### 9月14日(日)

研究発表	(南校舎2階・3階)	9:00～12:00
評議員会	(北新館4階 会議室)	12:00～13:30
研究発表	(南校舎2階・3階)	13:30～16:10
会員総会	(西校舎1階 517教室)	16:20～17:40
懇親会	(西校舎地下1階 学生食堂)	18:00～20:00

### 9月15日(月)

研究発表	(南校舎2階・3階)	9:00～12:00
『宗教研究』編集委員会	(南校舎3階 438教室)	12:00～13:40
研究発表	(南校舎2階・3階)	13:00～17:50
閉会式	(南校舎2階・3階)	各部会終了後

## 第1部会（南校舎425教室）

9月14日（日） 午前（9：00～12：00）

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| 1. 19世紀宗教音楽再考－市民社会との関連性－ | 三村 利恵 (大阪音大)   |
| 2. 聖者崇拜の基層的構造について        | 宮本 要太郎 (東京理科大) |
| 3. 西欧中世の死後世界説話           | 北沢 裕 (東大)      |
| 4. 宗教的対話論                | 横手 征彦 (金城学院大)  |
| 5. 祈りに関する調査              | ロバート・キサラ (南山大) |
| 6. <共同体>と<救済>の論理         | 井桁 碧 (聖心女大)    |
| 7. 仏教と欧米フェミニストたち         | 岡野 治子 (実践女大)   |
| 8. 仏教における聖化のメカニズムの人類学的分析 | 須藤 寛人 (駒大)     |
| 9. ヴェーバー宗教理論における動態分析の枠組み | 池田 昭 (中京大)     |

9月14日（日） 午後（13：30～16：10）

- |                                  |              |
|----------------------------------|--------------|
| 1. ユングの東洋宗教観－未公開資料から－            | 越智 秀一 (大正大)  |
| 2. 時空間の超越－ユング心理学からクリアーノ宗教学へ－     | 久保 耕司 (北大)   |
| 3. ヒルマンにおけるユングの宗教心理の展開について       | 高橋 原 (東大)    |
| 4. Over-belief－ジェイムズ宗教思想へのアプローチ－ | 安澤 幸代 (京大)   |
| 5. ライフヒストリーの中に見られる回心－キリスト教信徒の事例－ | 川又 俊則 (成城大)  |
| 6. 宗教現象への接近－合理的心性と神話的心性の相克をめぐる－  | 永見 勇 (立大)    |
| 7. 神話における「巨人」イメージの宗教現象学的解釈       | 久保田 将之 (筑波大) |
| 8. 女神の生成と構造化                     | 松村 一男 (天理大)  |

9月15日（月） 午前（9：00～12：00）

- |                                   |                |
|-----------------------------------|----------------|
| 1. ハーバート卿の宗教論とその背景                | 玉井 実 (東京工芸大)   |
| 2. 解放の宗教と支配イデオロギーとしての宗教           | 菱木 政晴 (西山短大)   |
| 3. 経営倫理と宗教                        | 村山 元理 (常磐大)    |
| 4. 公共宗教に動員される文化資源                 | 津城 寛文 (城西国際大)  |
| 5. 現象学的人類学と宗教学の接近                 | 木村 武史 (山口大)    |
| 6. 宗教現象学の創造性－志向性分析－               | 金井 新二 (東大)     |
| 7. 「媒介者」としての比較宗教学－「他者」理解と対話促進への道－ | 田中 かの子 (国際宗教研) |
| 8. 比較宗教の行く先                       | 脇本 平也 (国際宗教研)  |

9月15日（月） 午後（13：30～17：50）

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 「自然宗教」という文化ナショナリズム | 中村 生雄 (阪大)      |
| 2. 宗教の統合的理解の試み        | 小田 淑子 (関大)      |
| 3. 宗教学と「文化批判」をめぐる     | 深澤 英隆 (一橋大)     |
| 4. 俗概念と合理性            | 藤原 聖子 (日本学術振興会) |
| 5. 小集団における霊性          | 葛西 賢太 (上越教大)    |
| 6. 現代救済宗教と共依存の病理      | 熊田 一雄 (愛知学院大)   |
| 7. 堀一郎の「民間信仰」論        | 鈴木 岩弓 (東北大)     |
| 8. 宗教という言葉について        | 関 一敏 (筑波大)      |
| 9. 儀礼としての言語           | 山崎 美恵 (共栄学園短大)  |
| 10. 日本における「宗教」概念の形成   | 島 蘭進 (東大)       |
| 11. レーウの宗教学と人間学       | 華園 聰磨 (東北大)     |
| 12. 「宗教文化材」としての教典     | 土屋 博 (北大)       |
| 13. 聖俗転機の儀礼構造         | 櫻井 徳太郎 (駒大)     |

## 第2部会（南校舎423教室）

9月14日（日） 午前（9：00～12：00）

- |                                    |                  |
|------------------------------------|------------------|
| 1. 初期プラトニズムにおける宗教性と「技術」の関係をめぐって    | 和田 義浩 (日本学術振興会)  |
| 2. プラトン『弁明』における死・眠り・不死について         | 箕浦 恵了 (大谷大)      |
| 3. 「創られた伝統」論の可能性—アウグストゥス時代の場合—     | 小堀 馨子 (東大)       |
| 4. ジョン・ロックにおける「蓋然性」の探求としての「信仰」     | 瀧田 寧 (日大)        |
| 5. スピノザにおける風系統の精神—旅・目的への再解釈—       | 安中 隆徳 (産能大)      |
| 6. アレントとデューイ—common senseの地平をめぐって— | 長谷 武久 (大正大)      |
| 7. J・デューイにおける自由の概念について             | 宮野 升宏 (大正大)      |
| 8. ヘイドン・ホワイトの歴史の詩学と宗教研究            | 岡田 正彦 (スタンフォード大) |
| 9. ケネス・パークの呪術=レトリック論               | 堀 雅彦 (北大)        |

9月14日（日） 午後（13：30～16：10）

- |                               |                |
|-------------------------------|----------------|
| 1. キルケゴールと自然                  | 長谷 修孝 (法大)     |
| 2. S・キルケゴールの「罪のソクラテス的な定義」について | 平林 孝裕 (東京理科大)  |
| 3. 前期P・ティリッヒにおける歴史概念          | 今井 尚生 (京大)     |
| 4. メルロ＝ポンティにおける神秘的なものについて     | 大滝 結 (早大)      |
| 5. レヴィナスにおける自由の問題             | 重松 健人 (京大)     |
| 6. 悪・反省・他者—ジャン・ナベル『悪論』をめぐって—  | 杉村 靖彦 (京大)     |
| 7. 理性の有限性と神学—P・ティリッヒ『組織神学』—   | 日下部 哲夫 (文京女短大) |
| 8. 前期ティリッヒ神学におけるキリスト論の構造      | 芦名 定道 (京大)     |

9月15日（月） 午前（9：00～12：00）

- |                           |                   |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 後期西田哲学における「生命」と現代の生命論  | 森本 聡 (近畿大)        |
| 2. 私・汝・彼—西田哲学における—        | 廣川 和夫 (龍大)        |
| 3. ルドルフ・オットーと十牛図          | 木村 俊彦 (四天王寺国際仏教大) |
| 4. 癒しの思想と人間観—滝沢克己の場合—     | 棚次 正和 (筑波大)       |
| 5. 和辻哲郎における「祭祀」論と多元主義的宗教観 | 田中 久文 (日大)        |
| 6. 曾我量深における「象徴」としての世界     | 中山 一萱 (京都産大)      |
| 7. 北村透谷と樋口一葉の「信仰」について     | 土田 友章 (南山大)       |
| 8. 宗教観念を超える事態の原像          | 玉城 康四郎 (東大)       |

9月15日（月） 午後（13：30～17：30）

- |                                    |               |
|------------------------------------|---------------|
| 1. 他者との関係性について                     | 右山 忠史 (大阪体大)  |
| 2. 言葉の裂開と共振—J・ペーメにおける神秘主義的思惟の現場—   | 山下 豊 (大阪音大)   |
| 3. ドイツ敬虔主義と宗教的寛容                   | 蝶野 立彦 (早大)    |
| 4. カントの宗教哲学                        | 脇坂 真弥 (大阪外大)  |
| 5. 18C末ドイツ知識人の宗教観—フィヒテ『啓示批判』論評より—  | 関口 和男 (法大)    |
| 6. 神の存在と現象学的思考—M・シェーラーを手掛りに—       | 宮崎 真矢 (富山工高専) |
| 7. M・シェーラーの弁神論—M・ウェーバーを念頭に—        | 浅野 博之 (東北大)   |
| 8. ヤスパースの宗教理解                      | 布施 圭司 (米子工高専) |
| 9. 若きハイデッガーの宗教的生経験の思索              | 小野 真 (京大)     |
| 10. 悲劇について—ニーチェを手がかりに—             | 竹村 香織 (早大)    |
| 11. 「エヴァンゲリオン」の終末観—ヴァーグナーの「指環」との比較 | 十津 守宏 (成城大)   |
| 12. 真理と真実—ヒックの〈真理〉論・批判—            | 間瀬 啓允 (慶大)    |

## 第3部会（南校舎421教室）

9月14日（日） 午前（9：00～12：00）

- |                                   |                  |
|-----------------------------------|------------------|
| 1. カクレキリシタンと聖水                    | 宮崎賢太郎（長崎純心大）     |
| 2. 聖杯物語の変遷                        | 長井英子（関東学院大）      |
| 3. キリスト教と諸宗教—文化と風土の視点から—          | 野村誠（共愛学園女短大）     |
| 4. エマニュエル・レヴィナスにおける神              | 河合孝昭（早大）         |
| 5. 旧約聖書における父性—精神分析的な観点から—         | 安藤泰至（鳥取大）        |
| 6. ゴロアスター教徒パーシーの聖なる火と出自集団         | 中別府温和（宮崎公大）      |
| 7. 歓喜の円舞を踊る乙女—ランターズ共同体での求心的な女性像—  | 木田理文（文化伝承研究センター） |
| 8. ミュンツァーとシュヴェンクフェルト—歴史=終末観をめぐって— | 木塚隆志（駿河台大）       |
| 9. K・バルトの和解論の構造                   | 小川圭治（関東学院大）      |

9月14日（日） 午後（13：30～16：10）

- |                                 |                  |
|---------------------------------|------------------|
| 1. A・シュヴァイツァーとA・アイヒホルン—聖餐をめぐって— | 田辺明子（プール学院大）     |
| 2. 「慈善」の祭儀性—ルルドの〈ホスピタリティ〉をめぐって— | 寺戸淳子（日本学術振興会）    |
| 3. アジジの聖フランシスコとエコロジー—霊性         | 木村晶子（藤女大）        |
| 4. 古代教会の復活論における身体の連続性と非連続性の問題   | 出村みや子（ノートルダム清心大） |
| 5. アナトリア・トルコ、アレヴィー=ベクタシュの儀礼について | 佐島隆（大阪国際女大）      |
| 6. イスラーム倫理思想における自然悪の問題          | 塩尻和子（日大）         |
| 7. イスラーム主義に関する議論の再検討—エジプトの例から—  | 八木久美子（東京外大）      |
| 8. モッラー・サドラーのクラーン解釈の一側面         | 鎌田繁（東大）          |

9月15日（月） 午前（9：00～12：00）

- |                                 |            |
|---------------------------------|------------|
| 1. ロシア正教における共同性の志向—初期スラヴ派の主張—   | 井上まどか（東大）  |
| 2. 聖書の贖罪精神ときよめ—新英語訳聖書の翻訳を中心として— | 木原範恭（近畿大）  |
| 3. 神との出会い—マルティン・ブーバーを中心として—     | 中村友（早大）    |
| 4. われとなんじ—M・ブーバーとF・エブナー—        | 大川武雄（早大）   |
| 5. ブーバーの罪責論                     | 福井雅彦（北里大）  |
| 6. ル・フォールにおける「聖書」               | 八木博（山梨大）   |
| 7. 戒律と救済—儀礼的行為の意義について—          | 市川裕（東大）    |
| 8. 宗教迫害の類型化—ユダヤ教—               | 黒川知文（愛知教大） |
| 9. キリスト教の思想的原形の考察における反セム主義の危険性  | 水見潔（鈴鹿国際大） |

9月15日（月） 午後（13：30～17：50）

- |   |                  |
|---|------------------|
| 1. ガレノスのアスクレピオス信仰                         | 土屋睦廣（早大）         |
| 2. Ioudaizō と Ioudaismos —初期ユダヤ教の自己定義の問題— | 原口尚彰（聖和大）        |
| 3. ネオ・フェミニズムの神観念と歴史的キリスト教の神観念の接点          | 小林恵一（関西外大）       |
| 4. 大主教ニコライの日本理解—大聖堂の建築をめぐって—              | 尾田泰彦（儀礼文化研究センター） |
| 5. 戦後の日韓のキリスト教とクリスマス                      | 申昌浩（総合研究大学院大）    |
| 6. 日本の地方都市における末日聖徒イエス・キリスト教会              | 竹村一男（立正大）        |
| 7. 『おらしよの翻訳』について                          | 東馬場郁生（天理大）       |
| 8. キリシタンの真宗理解について                         | 御手洗隆明（大谷大）       |
| 9. キリスト教と真宗                               | 名木田薫（倉敷芸術科学大）    |
| 10. 外国側文書に記されていない迫害下のキリシタン遺物              | 青山玄（南山大）         |
| 11. 鈴木大拙における霊性の検討—キリスト教の視点から—             | 土井洋（大正大）         |
| 12. 内村鑑三の回心についての一考察                       | 徳田幸雄（東北大）        |
| 13. 内村鑑三における「実験」的聖書理解とその動機                | ミッシェル・ラフェイ（北大）   |

## 第4部会（南校舎422教室）

9月14日（日） 午前（9：00～12：00）

- |                                    |                     |
|------------------------------------|---------------------|
| 1. 『十住毘婆沙論』における罪と畏れについて            | 藤 近 恵 市 (大 正 大)     |
| 2. 『大毘婆沙論』見蘊見納息迦及の外道と異部            | 佐 野 靖 夫 (立 正 大)     |
| 3. 楞伽經に見られる「自覚聖智」について              | 和 田 真 二 (姫 路 獨 協 大) |
| 4. Dhammapada の伝承と詩の変形             | 今 西 順 吉 (国際仏教学大学院大) |
| 5. 中観思想における真理表現—チャンドラキールティを中心に—    | 岸 根 敏 幸 (日本学術振興会)   |
| 6. 涅槃經グループのチュンダについて                | 環 栄 賢               |
| 7. Buddhist bhaktism という呼称の妥当性について | 關 戸 法 夫 (東 方 研 究 会) |
| 8. ナーガールジュナにおける「存在」の両義性—本質と作用—     | 斎 藤 明 (三 重 大)       |
| 9. 部派教団と法華經                        | 西 村 実 則 (大 正 大)     |

9月14日（日） 午後（13：30～16：10）

- |                                   |                   |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1. 龍樹の描く自性観念形成プロセス—Ratnāvāntを中心に— | 山 本 伸 裕 (東 洋 大)   |
| 2. アティ—シャに帰される二つの『心髓撰集』について       | 望 月 海 慧 (立 正 大)   |
| 3. 和辻仏教学における「法」解釈と現象学             | 田 崎 國 彦 (武蔵野女子学院) |
| 4. オルデンベルク『ブッダ』とニーチェの仏教解釈         | 千 葉 一 弥 (早 大)     |
| 5. 見 (dṛṣṭi) の宗教的意義—心作用としての見と見随眠— | 遠 藤 信 一 (東 洋 大)   |
| 6. 現象学的視点からみた仏教の知覚論               | 曾 雌 美知恵 (東 大)     |
| 7. 諸学派の業論                         | 那 須 円 照 (龍 大)     |
| 8. 共済主義と共生主義—社会的仏教の思想—            | 芹 川 博 通 (淑 徳 短 大) |

9月15日（月） 午前（9：00～12：00）

- |                                   |                     |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1. 仏教思想史から推定される〈開放系の神〉としてのプルシャの思想 | 津 田 眞 一 (国際仏教学大学院大) |
| 2. ゴーサーラと絵解き—アージーヴィカ教再考—          | 渡 辺 研 二 (淑 徳 短 大)   |
| 3. クマーラによるシャバラ批判                  | 寺 石 悦 章 (日本学術振興会)   |
| 4. 神秘体験と聖人—ラーマクリシュナをめぐる—          | 堀 内 みどり (天 理 大)     |
| 5. 『ギター』解釈の歴史とヒンドゥー思想の変遷          | 木 村 文 輝 (愛 知 学 院 大) |
| 6. 印度哲学者の実体理解について—研究史的接近の試み—      | 三 浦 宏 文 (東 洋 大)     |
| 7. 古代インドにおけるソーマと神々                | 宮 崎 智 絵 (立 正 大)     |
| 8. M・K・ガンディーと多元的宗教・文化             | 葛 西 實 (I C U)       |

9月15日（月） 午後（13：30～17：30）

- |                                  |                     |
|----------------------------------|---------------------|
| 1. シャンカラの作品の中の王と最高神              | 村 上 幸 三 (東 北 大)     |
| 2. マナスの特質—『アタルヴァ・ヴェーダ』を中心に—      | 久保田 力 (東北芸術工科大)     |
| 3. 「身体行」による苦からの解放—ヨーガ・スートラの「癒し」— | 番 場 裕 之 (東 洋 大)     |
| 4. ウィリアム・ジョーンズのインド宗教研究の展開と意義     | 富 澤 か な (東 大)       |
| 5. スリランカのシンハラカトリックと民間信仰          | 蟹 沢 慶 子 (大 正 大)     |
| 6. ジャワの神秘主義と「伝統」                 | 蓮 池 隆 広 (東 大)       |
| 7. タイにおける呪的カリスマ僧の瞑想運動            | 矢 野 秀 武 (東 大)       |
| 8. バタック宗教のパンテオン                  | 山 本 春 樹 (天 理 大)     |
| 9. 教典研究における台湾製OCRソフトの可能性         | 大 室 照 道 (浄土宗総合研)    |
| 10. 民俗宗教のメディア情報化—戦前の婦人雑誌を中心に—    | 鈴 木 健 太 郎 (日本学術振興会) |
| 11. インターネット上の宗教情報への視角            | 深 水 顕 真 (九 大)       |
| 12. メディア・リテラシーと宗教をめぐる—考察         | 黒 崎 浩 行 (國 學 院 大)   |

## 第5部会（南校舎431教室）

9月14日（日） 午前（9：00～12：00）

- |                              |                     |
|------------------------------|---------------------|
| 1. 『阿毘曇心論』「業品」における無教の成就について  | 智 谷 公 和 (相 愛 大)     |
| 2. 北魏法難の研究資料について             | 春 本 秀 雄 (大 正 大)     |
| 3. 萬松行秀と耶律楚材                 | 原 田 弘 道 (駒 大)       |
| 4. 北魏佛教における疑經について            | 鈴 木 裕 美 (大 正 大)     |
| 5. 唐代における『金剛經』信仰と延命祈願        | 高 橋 佳 典 (早 大)       |
| 6. 『論註』における広略相入の思想的背景と意義     | 常 光 香 誓 (龍 大)       |
| 7. 姚興の通三世論をめぐって              | 菅 野 龍 清 (立 正 大)     |
| 8. 「内丹」思想の展開—道教的神秘主義の性格について— | 鈴 木 健 郎 (東 大)       |
| 9. 古代中國の喪禮に見る神位の習俗について       | 栗 原 圭 介 (大 東 文 化 大) |

9月14日（日） 午後（13：30～16：10）

- |                                 |                   |
|---------------------------------|-------------------|
| 1. 『法華經觀智儀軌』と法華三昧               | 土 倉 宏 (東 洋 大)     |
| 2. 韓国仏教の〈水子供養〉                  | 淵 上 恭 子 (杏 林 大)   |
| 3. 在日濟州道出身者の葬送儀礼—生葬（センジャン）の事例—  | 李 仁 子 (京 大)       |
| 4. 雑誌『総動員』に見る植民地期朝鮮における宗教動員     | 川 瀬 貴 也 (東 大)     |
| 5. 韓国の巫儀において祀られる祖先—全羅南道珍島の事例から— | 川 上 新 二 (國 學 院 大) |
| 6. 朝鮮と日本における道教伝来                | 芦 名 裕 子 (亜 細 亜 大) |
| 7. 新羅時代の護国伽藍の縁起について             | 李 興 範 (立 正 大)     |
| 8. 曹洞宗の朝鮮布教概史                   | 工 藤 英 勝 (足 利 工 大) |

9月15日（月） 午前（9：00～12：00）

- |                                 |                       |
|---------------------------------|-----------------------|
| 1. 仏教の二重構造と般若心經解釈—空は「み仏の御命」と訳す— | 長谷川 洋 三 (早 大)         |
| 2. 大徳寺本『拾遺漢語燈録』所収「夢記」について       | 永 井 隆 正 (知恩院浄土宗学研)    |
| 3. 『十地經』における「三十九菩薩」について         | 平 賀 由美子 (大 正 大)       |
| 4. 「方便化身土文類」真門釈の研究              | 緒 方 義 英 (浄土真宗本願寺派宗学院) |
| 5. 還相の研究                        | 葛 野 洋 明 (龍 大)         |
| 6. 神会の「衆生心」について—頓漸の問題をめぐって—     | 冲 永 宜 司 (京 大)         |
| 7. 迦才『浄土論』に於ける生因論               | 柴 田 泰 山 (大 正 大)       |
| 8. 「特留此經止住百歳」の文をめぐって            | 金 子 寛 哉 (大 正 大)       |
| 9. 法蔵の華嚴經觀—五周因果説をめぐって—          | 織 田 顕 祐 (大 谷 大)       |

9月15日（月） 午後（13：30～17：30）

- |                                  |                     |
|----------------------------------|---------------------|
| 1. 任饒選『地藏菩薩靈驗記』を求めて              | 清 水 邦 彦 (日本学術振興会)   |
| 2. 僧肇における般若無知の構造                 | 武 田 公 裕 (龍 大)       |
| 3. 成実論師の思想について                   | ジョアキン・モンテイロ (駒 大)   |
| 4. 敦煌本法句經の諸本について                 | 猪 崎 直 道 (駒 大)       |
| 5. 洞門禅僧における感夢観について—初期僧団との関連における— | 小田嶋 巖 雄 (駒 大)       |
| 6. 善導の如来蔵思想批判について                | 秦 治 人 (大 谷 女 大)     |
| 7. 共業と器世界                        | 向 井 亮 (北海道武蔵女短大)    |
| 8. 明恵に於ける華嚴教学の受容                 | 前 川 健 一 (東 大)       |
| 9. 良遍の『観心覚夢鈔』に関する一考察             | 後 藤 康 夫 (龍 大)       |
| 10. 四十九院の展開                      | 神 居 文 彰 (佛 教 大)     |
| 11. 当麻曼荼羅講讃と中世仏教                 | 加 藤 善 朗 (日本学術振興会)   |
| 12. 胎蔵マンダラの如来身会について              | 八 田 幸 雄 (関 西 学 院 大) |



## 第6部会（南校舎432教室）

9月14日（日） 午前（9：00～12：00）

- |                        |      |           |
|------------------------|------|-----------|
| 1. 時衆御影堂派本山新善光寺史の一考察   | 古賀克彦 | (国府台女子学院) |
| 2. 道元における「嗣法」と現代教育の問題点 | 半田栄一 | (中央商科短大)  |
| 3. 仁治年間を境とする道元の思想      | 何燕生  | (東北大)     |
| 4. 法然上人霊跡第十七番二尊院について   | 山本博子 | (佛光大)     |
| 5. 法然上人「善導弥陀化身説」の意義    | 林田康順 | (大正大)     |
| 6. 浄土真宗における宗教教育について    | 北島隆晃 | (龍大)      |
| 7. 浄土真宗の生命観            | 塚田博教 | (浄土真宗教学研) |
| 8. 補陀落渡海僧・日秀の遺品        | 根井浄  | (神戸常磐短大)  |
| 9. 日蓮の本尊論              | 竹原弘  | (徳山大)     |

9月14日（日） 午後（13：30～16：10）

- |                                  |      |         |
|----------------------------------|------|---------|
| 1. 日蓮の百王思想について                   | 鶴岡雅代 | (立正大)   |
| 2. 妙楽大師湛然における下種論の特質－日蓮宗教学史的視座から－ | 田村完爾 | (立正大)   |
| 3. 日蓮伝承初見一覧                      | 小林正博 | (東洋哲学研) |
| 4. 中世日本仏教にみるジェンダー－日蓮を中心に－        | 三輪是法 | (身延山大)  |
| 5. 明治期における日蓮教団組織の確立について          | 安中尚史 | (立正大)   |
| 6. 立正安国論と岩本実相寺                   | 関戸堯海 | (身延山大)  |
| 7. 日蓮聖人遺文にみる福祉の理念                | 庵谷行亨 | (立正大)   |
| 8. 覚如における夢の解釈                    | 寺川幽芳 | (龍大)    |

9月15日（月） 午前（9：00～12：00）

- |                                   |      |           |
|-----------------------------------|------|-----------|
| 1. 道元禅師の坐禅観－特に「さとり」の問題を中心として－     | 青龍宗二 | (駒大)      |
| 2. 『西方指南抄』の考察－法然から親鸞へ－            | 中臣至  | (龍大)      |
| 3. 真宗学という立場                       | 大友公司 | (龍大)      |
| 4. 信巻所引深心釈の課題                     | 大神栄治 | (大谷大)     |
| 5. 蓮如におけるコミュニケーションの意味             | 吾勝常行 | (龍大)      |
| 6. 弁長・長西における『往生論註』の受容について         | 那須一雄 | (浄土真宗教学研) |
| 7. 蓮如上人『帖外御文』の教義について              | 吉田宗男 |           |
| 8. 大乘菩薩道としての親鸞浄土教                 | 安藤章仁 | (龍大)      |
| 9. 『教行信証』における善導「自信教人信」(往生礼讃)の文の意義 | 三明智彰 |           |

9月15日（月） 午後（13：30～17：30）

- |                                 |       |            |
|---------------------------------|-------|------------|
| 1. 親鸞の歴史観について                   | 大津真   | (龍大)       |
| 2. 親鸞における獲信の内実                  | 河智義邦  | (龍大)       |
| 3. 親鸞における造悪無碍批判について             | 宗公史   | (龍大)       |
| 4. 親鸞に於ける時機観－主に出遇いの「今」を中心に－     | 武田未来雄 | (大谷大)      |
| 5. 親鸞における疑の一考察                  | 武山晃隆  | (龍大)       |
| 6. 仏教社会福祉に関する一考察－親鸞思想との関係を中心に－  | 藤憲之   | (龍大)       |
| 7. 親鸞の肉食観－日本仏教の食の思想から－          | 目黒きよ  | (立正大)      |
| 8. 浄土教における光の体験－親鸞の場合－           | 陳敏齡   | (輔仁大)      |
| 9. 親鸞における唯除の意義                  | 平原晃宗  | (大谷大)      |
| 10. 歎異抄における行者の概念                | 西田真因  | (真宗大谷派教学研) |
| 11. 『歎異抄』と異義                    | 林智康   | (龍大)       |
| 12. 親鸞と一遍の比較に関する一考察－日本の心性をめぐって－ | 釋徹宗   | (相愛大)      |
| 13. 親鸞と道元－行信證の論理－               | 井上克人  | (関大)       |

## 第7部会（南校舎434教室）

9月14日（日） 午前（9：00～12：00）

- |                                 |      |            |
|---------------------------------|------|------------|
| 1. 幕末の平田派と白川家—国学の宗教性をめぐって—      | 遠藤潤  | （國學院大）     |
| 2. 神道の神観念について—異邦人の神道理解の為のメッセージ— | 磯崎浩也 | （國學院大）     |
| 3. 禊教と白川家                       | 荻原稔  | （都立八王子盲学校） |
| 4. 外国人研究者の観た黒住教                 | 藤原照彦 |            |
| 5. 新宗教と聖典                       | 福嶋信吉 |            |
| 6. 近代における浄土観—清沢満之の場合—           | 松岡雅則 | （大谷大）      |
| 7. 本居宣長の禍津日神論について               | 稲田智宏 | （國學院大）     |
| 8. 戦後期における賀川豊彦の天皇観と神道理解         | 岩瀬誠  | （國學院大）     |
| 9. 安津素彦の神道理論                    | 中野裕三 | （國學院大）     |

9月14日（日） 午後（13：30～16：10）

- |                           |      |          |
|---------------------------|------|----------|
| 1. 古代日本語ツクルとナルについて        | 大西昇  | （東京工芸大）  |
| 2. 増穂最仲における俗流神道説の形成       | 森和也  | （早大）     |
| 3. 安藤昌益の儒教批判—反「二別」の思想—    | 濱砂存儀 |          |
| 4. 近代曹洞宗の二大論壇             | 熊本英人 | （曹洞宗宗学研） |
| 5. 宮沢賢治研究—『暁鳥敏日記』を中心として—  | 北川前肇 | （立正大）    |
| 6. 羽仁もと子の信仰と女性論           | 森上優子 | （南山大）    |
| 7. 福沢諭吉の政教分離論—島地黙雷との比較から— | 守屋友江 | （明治学院大）  |
| 8. 三谷素啓、人と思想              | 由木義文 | （慶大）     |

9月15日（月） 午前（9：00～12：00）

- |                                  |       |         |
|----------------------------------|-------|---------|
| 1. 戦時下における日中仏教徒の一動向              | 野世英水  | （龍大）    |
| 2. 日本の初期造像にみる神仏習合の諸相             | 紺野敏文  | （慶大）    |
| 3. 元伊勢事件の顛末                      | 金子善光  | （國學院大）  |
| 4. 島地黙雷の政教分離論—明治5年の欧州視察によって得たもの— | 堀口良一  | （京大）    |
| 5. 宗教と民間医療—イトオテルミー親友会の事例から—      | 岡部雅明  | （駒大）    |
| 6. アンナクータ祭について                   | 及川弘美  | （東方研究会） |
| 7. ネオ・シャーマニズムについて                | 佐々木宏幹 | （駒大）    |
| 8. 村内空間と価値—トラホムルコの場合—            | 野村暢清  | （久留米大）  |
| 9. 沖縄県宮古郡池間島の竈神信仰                | 窪徳忠   | （大正大）   |

9月15日（月） 午後（13：30～17：30）

- |                               |      |            |
|-------------------------------|------|------------|
| 1. 日本宗教史の疫学的パラダイム             | 中牧弘允 | （国立民博）     |
| 2. 近現代日本における心身実践と宗教           | 前川理子 | （東大）       |
| 3. 生命倫理における原則理論の問題点           | 佐藤雅彦 | （大正大）      |
| 4. 滝沢克己における病いと浄化について          | 久保紀生 | （千葉商科大）    |
| 5. 生に関する意識と死の心象               | 荻野勝行 | （大谷女短大）    |
| 6. 死の予兆と経験の再構成—新潟県佐渡島の事例を通して— | 山田慎也 | （国立民博）     |
| 7. 死の定義、そして生命倫理をめぐらる問題について    | 金永晃  | （大正大）      |
| 8. 死の受容—世俗のしがらみからの解放—         | 林弘幹  | （真宗大谷派教学研） |
| 9. 現代葬儀事情—愛知県下を中心に—           | 川上光代 |            |
| 10. 古代墓で見られる豚骨                | 李乾熙  |            |
| 11. 東京における「社葬」について            | 村上興匡 | （東大）       |

## 第8部会（南校舎433教室）

9月14日（日） 午前（9：00～12：00）

- |                                 |                     |
|---------------------------------|---------------------|
| 1. 日本近代における宗教倫理の一考察－真宗門徒を中心として－ | 菊 藤 明 道 (京 都 短 大)   |
| 2. 科学信仰について－浄土真宗との関連－           | 鞆 津 照 信             |
| 3. 南米と西欧における仏教（真宗）について          | 高 田 信 良 (龍 大)       |
| 4. 原胤昭の事蹟－明治期キリスト者のあり方－         | 雨 貝 行 磨 (東 北 学 院 大) |
| 5. シャーマンとセガキ－地域社会における民俗宗教と仏教－   | 加 藤 之 晴 (駒 大)       |
| 6. 現代沖縄における「ユタ」と「琉球」アイデンティティ    | 岡 野 宣 勝 (成 城 大)     |
| 7. 木曾御嶽行者（前座）のシャーマン的性格について      | 中 山 郁 (國 學 院 大)     |
| 8. シャマニズムにおける救済と癒しの意味           | 西 村 康 (国立精神神経センター)  |
| 9. 民間巫者と「互酬性の倫理」                | 池 上 良 正 (筑 波 大)     |

9月14日（日） 午後（13：30～16：10）

- |                               |                   |
|-------------------------------|-------------------|
| 1. 近郊農村における神棚・仏壇祭祀            | 磯 岡 哲 也 (淑 徳 大)   |
| 2. 民俗宗教における残存と創出              | 由 谷 裕 哉 (小 松 短 大) |
| 3. 戦後における韓国無教会キリスト教－慮平久を中心に－  | 金 英 男 (東 大)       |
| 4. 韓国における新宗教研究の現状と課題          | 李 元 範 (草 堂 大 学 校) |
| 5. オウム真理教における教祖崇拜について         | 長 崎 誠 人 (京 大)     |
| 6. オウム真理教－道場の閉鎖と再開について－       | 尾 堂 修 司 (浄土真宗教学研) |
| 7. 新宗教と「語り」－自我の構成と変容の問題をめぐって－ | 菊 池 裕 生 (上 智 大)   |
| 8. 民衆宗教論と新宗教研究                | 弓 山 達 也 (大 正 大)   |

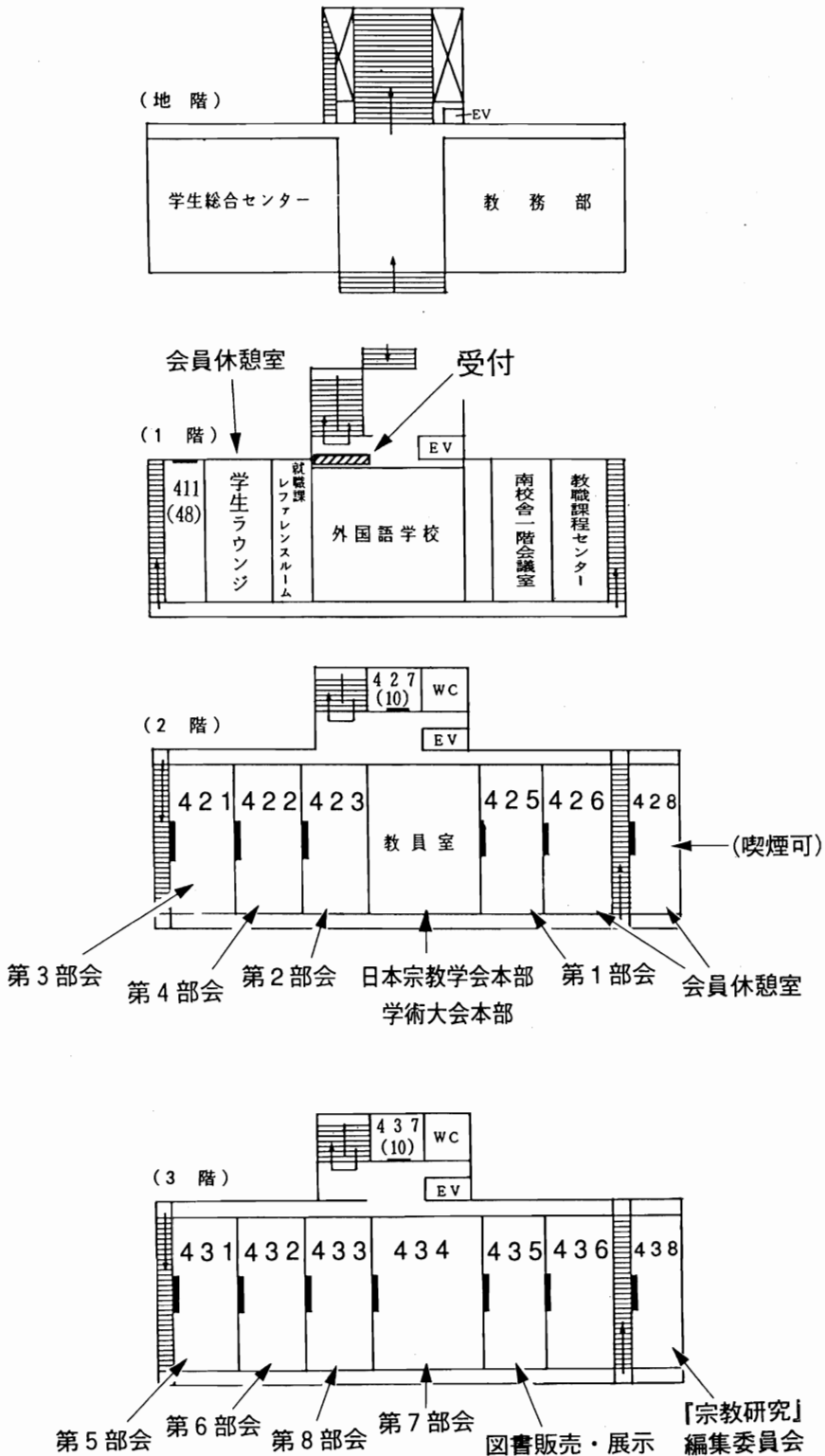
9月15日（月） 午前（9：00～12：00）

- |                                |                     |
|--------------------------------|---------------------|
| 1. 祖師鑽仰のための教化の一視点              | 勝 田 哲 山 (曹洞宗教化研)    |
| 2. 古代日本の社会構造と仏教の機能             | 笠 井 正 弘 (西 日 本 短 大) |
| 3. 修験道と村落祭祀－山形県村山地方の事例を中心に－    | 平 山 眞 (東 洋 大)       |
| 4. 仙台藩における修験道組織の展開－仙南六郡を中心として－ | 伊 藤 辰 典 (東 北 大)     |
| 5. 食行身祿の『一字不説の巻』における副次的なトピック三題 | 大 谷 正 幸             |
| 6. 秋葉信仰と代参講の現状について             | 渡 部 正 英 (駒 大)       |
| 7. 板碑にみる中世教団の展開とその背景           | 青 木 淳 (国際日本文化研)     |
| 8. 痘瘡神信仰における女性の役割について          | 小 村 出 (大 正 大)       |
| 9. 弥生時代の青銅器について                | 椿 實                 |

9月15日（月） 午後（13：30～17：30）

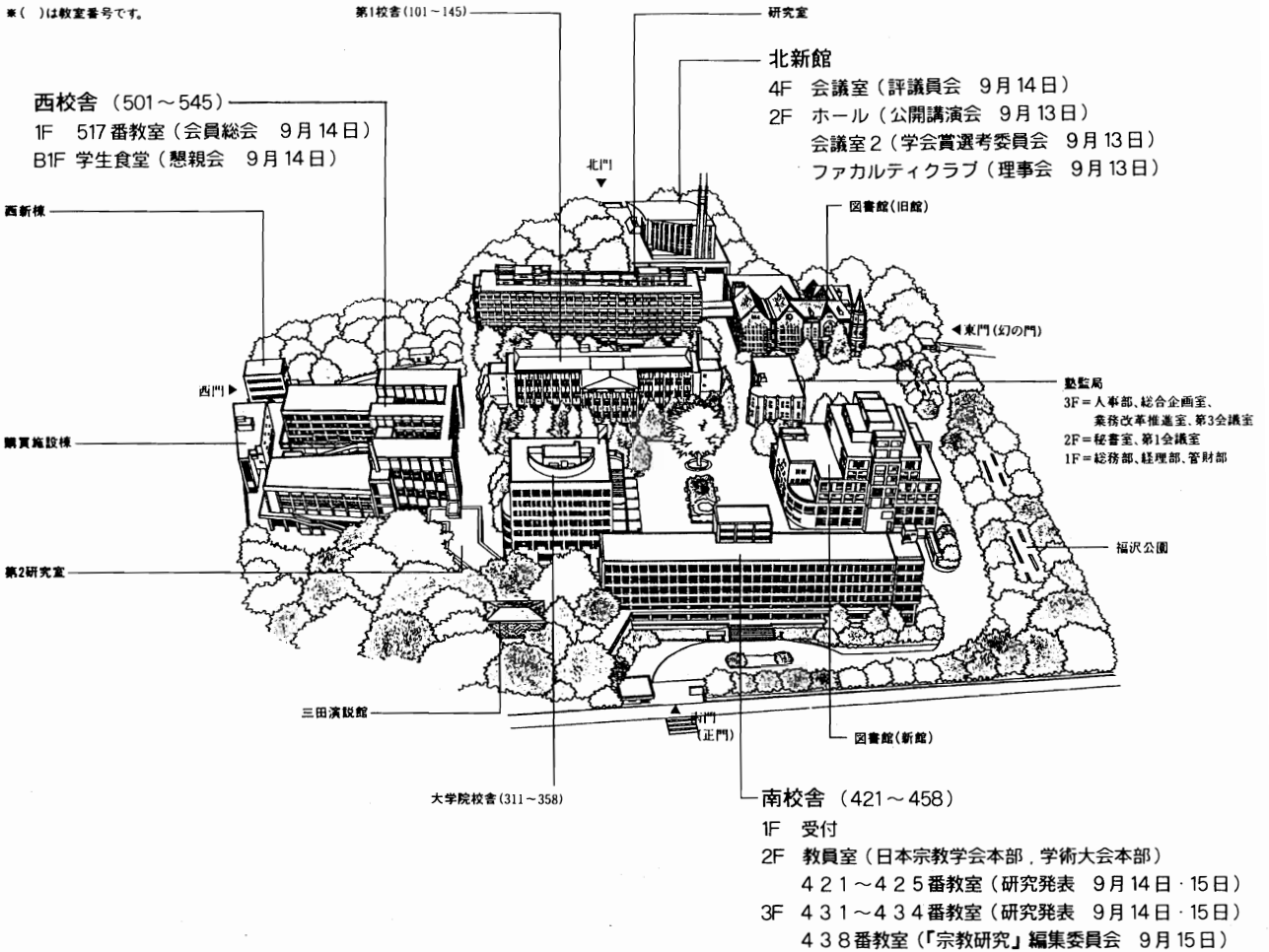
- |                                |                      |
|--------------------------------|----------------------|
| 1. 陰陽道と暦注                      | 小 池 淳 一 (弘 前 大)      |
| 2. 「隠レ陰陽師」考                    | 繁 田 信 一 (東 北 大)      |
| 3. 式神について                      | 鈴 木 一 馨 (東 方 研 究 会)  |
| 4. 神通力の源泉としての禅定                | 佐久間 光 昭              |
| 5. 能における魂の顕現                   | 永 原 順 子 (京 大)        |
| 6. 屋久島における統合的世界観の成立            | 島 田 潔 (國 學 院 大)      |
| 7. 返送される「積荷」－「カーゴ・カルト」概念の行方－   | 磯 忠 幸 (関 西 大)        |
| 8. 「家」と救済                      | 門 馬 幸 夫 (駿 河 台 大)    |
| 9. 「ゆずの里かおり村」（栃木県茂木町）の七福神について  | 長 江 弘 晃 (佐野国際情報短大)   |
| 10. 空海『秘蔵宝鑰』「発起序」に見る道祖神の観念     | 河 村 能 成 (東 北 大)      |
| 11. 金剛峯寺修正会の「一つもの」（聖なる小童兒）について | 日野西 眞 定 (日本宗教民俗学研究会) |
| 12. 季節祭と記念祭－時間のシンボリズムをめぐって－    | 藪 田 稔 (京 大)          |

# 南校舎 教室配置図



# 三田キャンパス配置図

※( )は教室番号です。



# 慶應義塾大学 三田キャンパス案内図

## 三田キャンパス

東京都港区三田 2-15-45  
TEL 03-3453-4511 (代)

JR 山手線・京浜東北線 田町駅下車 徒歩約 8 分  
都営地下鉄浅草線 三田駅下車 徒歩約 7 分  
都営地下鉄三田線 三田駅下車 徒歩約 7 分

